

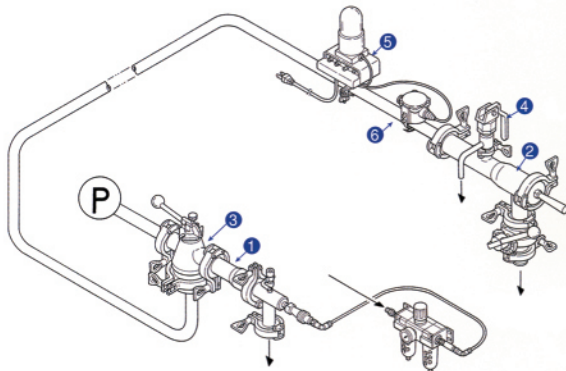


PUSHKUNクリーンシステム (サニタリー配管クリーンシステム)

サニタリー設備における食品および原料の移送では、パッキンの破損や雑菌の混入・移送物の回収・洗浄作業の時間短縮・洗浄水/洗浄液の節約および排水処理設備の負担軽減・既設ラインへの接続方法など、多くの問題から発生する様々なニーズを抱えています。このような多種多様なニーズにサニタリー配管をシステムでとらえ、トータルにお応えします。

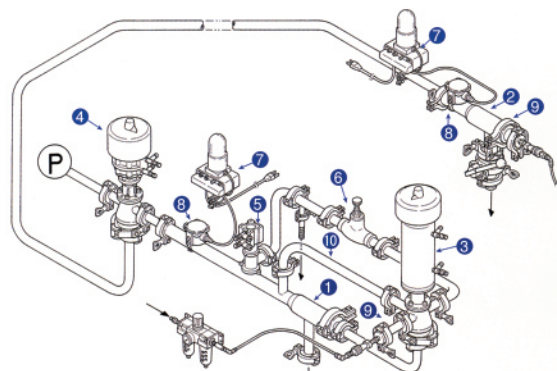
プッシュクン・クリーン・システムは既に多くの食品・ケミカル関連業界で使用され、配管内の原料回収率を大幅に向上させる新しい方法としてご好評をいただいています。

PUSHKUNクリーンシステム
[ワンウェイタイプ] 参考見取図



- ① スタート管 (ランチャー)
- ② キャッチャー管
- ③ トランスRバルブ (3ウェイ)
- ④ 排気弁 (安全用)
- ⑤ 検知器AC100 : 220V
- ⑥ プッシュクンセンサー

PUSHKUNクリーンシステム
[往復タイプ] 参考見取図



- ① ランチャーステーション
- ② キャッチャーステーション
- ③ トランスR (3ウェイ)
- ④ トランスR (4ウェイ)
- ⑤ 排気バルブ
- ⑥ 開度調整弁
- ⑦ 検知器
- ⑧ プッシュクンセンサー
- ⑨ 原料逆止弁
- ⑩ CIP回路 (オプション)

PUSHKUNクリーンシステム (サニタリー配管クリーンシステム)

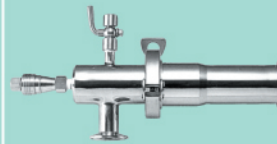
プッシュクン



エア圧・水圧等でスタート管内に発射されたプッシュクンはフロントガイドボール（球状部分）によってエルボ・Uベントおよびバルブ部分を円滑に通過します。シールドアドバンス（羽の部分）は後方からのエア圧・水圧等で配管の内壁方向に広がり、内壁と密着しながら配管内を進んでいきます。

シールドアドバンスは原料側への圧力源（エアおよび水等）の漏れを防ぐと同時に、原料を圧力側に逃がさない事により、プッシュクンが通過した配管内の全ての原料を回収する働きをします。

スタート管 (ランチャー)



スタート管はプッシュクンをエア圧・水圧等で押し出します。プッシュクンを装着しやすいように基準配管内径より少し管径を大きくし、エア圧・水圧等の供給やCIP洗浄のための適正なカプラー・ドレイン管が取付けられます。

トランスRバルブ



トランスRバルブは、液だまりがなく、熱水・蒸気洗浄に対しても焼付やカサリを生ずる事はありません。また、バルブ内の形状をエルボタイプの配管形状にする事により、プッシュクンおよび原料（特に高粘度の原料）を移送する時の圧損を防ぐようにデザインされています。プッシュクンの導入による効果をよりアップさせるための重要な周辺機器のひとつです。

キャッチャー管



キャッチャー管は原料を通過させながらプッシュクンを受け止めます。Tタイプのキャッチャー管は、内部のバスケットにプッシュクンが収まり、このバスケットごとプッシュクンを取り出す事ができます。Cタイプの場合はキャッチャー管をラインからはずして中のプッシュクンを取り出します。プッシュクンのライン内におけるスピードの調整はキャッチャー管に原料の流量調整用バルブを取り付ける事により可能になります。

プッシュクン検知器



プッシュクン内蔵のマグネットをセンサーで検知し、接点出力ON (LED点灯) でプッシュクンのキャッチャー管への到着を知らせます。検知器は配管に取付けができます。出力端子からはリレー出力です。センサーは防水タイプ・防爆タイプを用意しています。

メタルガードパッキン



メタルガードはパッキンにステンレスの外輪を設け、圧力によるはみ出しや摩耗を一切解消します。高圧力に耐えるシール機構で耐久性も充分、パイプ内にわずかの異物も許しません。また、洗浄作業が容易、雑菌の発生を解消します。メタルガードの利用により、パッキンのトラブルによる作業ロス・原料ロスが無く、移送設備の安全性が向上します。パッキン部の材質は用途に合わせて選択・交換が可能、既設のサニタリー配管のヘルール継手・IDFユニオン継手（H型・L型）部分に使用可能です。